

第10回近畿学校保健学会

抄 録 集

日 時 昭 和 3 8 年 6 月 1 6 日 (日)

会 場 和 歌 山 県 農 協 会 館

近 畿 学 校 保 健 学 会

会 長 和歌山県学校保健連合会長 小出 陽造

— 1 9 6 3 —

目 次

特 別 講 演

学校保健の立場からみた環境衛生について.....(1)

和歌山県立医科大学教授 白 川 充 博 士

一 般 講 演

1) 保健学習について.....(2)

神 前 捨 治 (海南市黒江小、保健主事)

2) わが校の保健教育.....(2)

山 内 英 雄 (海南市大野小、校長)

3) 学校保健委員会の歩み(3)

三 枝 美 代 子 (海草郡小川小、養護教諭)

4) 児童の保健的配慮について(4)

実践記録 1. 環境のはたらき 2. 教育の目標と道徳

金 森 定 雄 (近江八幡市北里小、保健主事)

5) 血圧価の真価について.....(6)

西 起 三 郎 (大阪市学校保健会)

6) 保健室からみた生徒の傷害発生に及ぼす学校内外の影響の度合に関する
一考察(6)

○浜 田 正 美、平 井 悦 子、氷 室 美 沙 子
今出悦子、石橋寿美子 (神戸大学教育学部教育衛生)

7) 学校保健の新しい分野としての2,3の問題(6)

長 谷 川 等 (大阪府学校保健会)

8) 生体測定における誤差の研究.....(7)

川 畑 愛 義、○八 木 保 (京都大学 教 養)

9) 成長加速化現象に関する研究.....(7)

川 畑 愛 義、八 木 保 (京都大学 教 養)
○西 尾 貞 子 (大阪市日本橋中)

- 10) 保健教育の個人評価(8)
森 山 八 郎 (大阪市東住吉中、保健主事)
- 11) 過去10年間の大阪市立中学校卒業期生徒の肺結核の消長について.....(10)
大 島 明 雄 (大阪市学校医会)
- 12) 学校保健における精神身体医学的考え方の重要性について.....(11)
高 木 俊 一 郎 (大阪学芸大学保健養護)
- 13) モデル防音教室の効果について.....(11)
古 井 司 (大阪市学校保健会)
- 14) 精薄児童についての物薬使用経験 (11)
○山 本 勝 朗 (大阪市立大学、家政)
深 瀬 孝 一、豊 田 英 太 郎、岡 田 宮 子
(堺市養護学校)
- 15) 小児の発育加速現象について..... (12)
才 1 報 思春期小児の成長と成熟について
才 2 報 非行少女と発育加速現象
高 井 俊 夫、○ 安 藤 格、小 泉 英 雄
(大阪市立大学医学部)
- 16) 本校の健康調査について.....(12)
藤 田 元 洋 (寝屋川市才五小、学校医)
- 17) 赤痢発生地区における給水問題について (13)
鈴 木 繁 三 (田辺市学校薬剤師会)
- 18) 児童の自律神経緊張傾向.....(5)難聴児について (13)
伊 東 祐 一、榊 原 栄 一 (大阪学芸大学、保健)
○不死川慶昭 (大阪市曾根崎小教諭)
- (誌上発表)
- 19) 奈良県五条市における児童の血液型検査について..... (14)
寒 川 正 明、三 好 八 千 代、榎 坂 正 代
辻 健 子、山 本 昌 子
(五條市学校保健会)

特 別 講 演

学校保健の立場からみた環境衛生について

和歌山医科大学（衛生学・公衆衛生学教室）

教 授 白 川 充

1 学校保健の目的とその意義について

昭和33年4月10日に公布された「学校保健法」の第1章に、「この法律は、学校における保健管理に関し必要な事項を定め、児童、生徒、学生および幼児、並びに職員等の健康の保持増進を図り、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする」と明示されている。しかし「学校保健計画を立て、学校環境衛生の維持改善に努めねばならない」とその方針を示している。

次いで、学校における健康診断や健康相談、学校保健技師や学校医等の取組を明らかにし、また伝染病の予防などについても、その具体的実施法を明記している。

日本国憲法第25条には「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」として、国家はすべての国民の生活部面について、社会福祉、社会保障、及び公衆衛生の向上と増進に努めねばならないことを約している。

また教育基本法第1条(教育の目的)の中で、「教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家および社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行なわれなければならない」とうたい、教育の児童生徒に対する精神的身体的に健全なる発達を図ることの重要性を強調しているのである。

かくの如く、学校教育の重要性とその発展に伴い、今後学校保健の果たす役割は実に大きいものと云わねばならないが、しかしわが国における学校保健に関する視野と認識の程度については、公衆道徳の低級さや公衆衛生思想の欠除などと相並んで、未だしの段階にあり、われわれの前に学校保健に関して多くの問題が未解決のまま横たわっているように思われる。

2 学校保健はいかにあるべきか？

そこで、学校保健を発展させるにはどうしたらよいかと云うことについて考えてみると、従来の欠陥として、学校と地域社会の学校保健に対する認識や理解が充分でなく、学校側においても、一般教職員が無関心であると云う現状を見聞するのである。従って、学校長は率先して、学校保健に関して指導を行ない、学校保健問題について積極的に推進して行く必要がある。いやしくも学校教師として、人間たる生徒を対象として取扱う以上、人間の健康問題について無智や無関心であってよいはずはない。むしろ心身ともに健康な社会人を作るためには、積極的に学校保健の立場から、生徒をいかに取扱うべきかについて、充分なしかもかなりの専門的知識を持って貫く必要があると思うのである。従って教師養成機関(大学)においては、教育専門科目と同等に「学校保健」を必須科目として課すべきであると主張したいのである。勿論、一部の教育系大学において、保健学講座のある所で、必須科目となっているところもみられるが、全国的にみると極めて少ないのが実情であり、この点について文部省および関係当局におかれても、充分の御検討と御推進をお願いする次第である。

3. 講演内容要旨

- a 学校保健の教育的意義
- b 戦後における公衆衛生の主要指標の推移について
- c 学校保健に関する統計的資料
- d 生徒の生活環境の諸問題点
 - ① 家庭生活環境と児童の知能発達について
 - ② 栄養と発育
 - ③ 学校給食と食品衛生
 - ④ 伝染病および寄生虫病の予防
 - ⑤ 視力障害と学校教室内照度
 - ⑥ 無医地区における生徒の生活環境ならびにその保健衛生に関する諸問題
 - ⑦ 学校環境における騒音等の公害問題
 - ⑧ 交通災害と安全について
- e 体育と疲労について
- f 健康教育は、生徒のみならず教職員にも必要

一般講演

1 保健学習について

海南市黒江小学校保健主事 神 前 捨 治

保健学習は自主的保健生活をする根本的な条件であり、社会改善にまで発展さす内容もふくむものである
ので、納得する指導内容でなければならない。

そこで私達の保健学習の研究は

1. 教師の指導内容はどうか

2. 資料の与え方はよかったか

(作文グループや個人の研究の調査、掛図、教師の用意した図表、幻灯等)

3. グループ学習での効果

以上三点にしばって現職教育の場で討論研究を重ねている。要は内容分析と、自主的な子供達の研究が相
まって、指導後の子供の変化、即ち習慣化への態度が大きく変化する内容でなければならないということ
である。

このような学習指導を進めていても、指導後の子供の意識が、日と共にうすれ習慣化が乱れてくるという
問題もあるので、これについてはドリル的な指導と学校保健行事等をとらえて、よりよき習慣化へと積み重
ねていくようにしなければならない。

児童の身体の正常な発育も、身についた習慣も一夜にしてなまのではなく、長期間の学習指導と全教員の
意欲と家庭や社会の協力があつてなるものであるが、学校に於ける指導内容が最も大切な役目を果している
と思う。

「虫歯の予防」 4年1組 46名 (6月)

指導効果と継続指導

1. 指導翌日の調査

朝晩みがく 34 朝だけみがく 10 夜だけみがく 2

2. その後の変化

	夏休み前	夏休み後	10月末
朝晩みがく	26	21	30
晩だけみがく	3	3	2
朝だけみがく	15	19	13
時々わすれる	2	3	1

9月末簡単な再指導

3. 治療状況

	夏休み迄	休み中	10月末
治療済	10	7	2
未治療	16	9	7

2 わが校の保健教育

海南市立大野小学校長 山 内 英 雄

1. 保健教育の目標

生命の尊さを知り強健な身体をつくるために自主的に実践できる子どもを育てる

2. 指導方針

イ 保健安全に関する智慧を養う

ロ 心身一如の原理の上にたつて指導をする。

ハ 子どもに根負けしない

ニ 家庭との連絡を密にする

ホ 健康的な環境醸成に一層努力する

3. 実 際

イ 教科の指導を通して

体育、保健、理科の授業、その他の教科の授業、日課表の作成

ロ 学校行事を通して

朝会、健康観察、給食、清掃、節句、誕生会、運動会、遠足、体力テスト、体重測定、健康診断、健康相談保健週、旬、月間の利用、各種予防接種

ハ 特別教育活動を通して

児童保健委員会、学級会、衛生部、給食部、美化部、体育部の活動

ニ 環境の整備

運動具の整備、測定器の充実、救急措置用品の完備、設備の充実、清潔整頓、精神衛生の重視、人間関係の樹立

ホ 学校保健委員会の活動

ヘ 保健主事養護教員の活動

ト 情操教育の重視

明るい豊かな朗らかな子どもを育てる

チ 理科教育の推進

事物現象の見方、考え方処理のしかたを合理的にできる子どもを育てる

リ 両親学級の充実

保健に関する両親の開眼

ヌ 地域ぐるみの保健教育

学校は地域の保健センターでありたい

4. 本校の子どもの体位の推移

省 略

3 学校保健委員会の歩み

海草郡小川小学校養護教諭 三 枝 美 代 子

生石高原の麓には小さな私達の学校があります、産業は農業が最も多く平地が4分、段丘が6分と云う地形で地域は7つに別れており、不便な土地では、食品の小さな小売店もない環境です。昭和28年に学校保健委員会の発足をみてから現在トラコーマ罹患率が年々減少、一般は17%となり、農家で人糞肥料を使用している為蛔虫卵は一般では20%の実態で年々低下しています。保健委員会の会合は一日の仕事を終えて夜の会合に持った日も多く協力的で地下足袋で出してくれる父兄や熱意ある人達ばかりで活動が活潑になっていきました、地区別の研究が取り上げられた研究の一例ですが

1. 睡眠と健康、電球の明るさと距離

2. テレビと近視 吉野地区

3. 栄養と健康 東福井地区

4. 大人の体育 奥佐々地区

5. 家庭の健康習慣 西福井地区

6. 蚊と蠅の駆除 坂本地区

7. 寄生虫対策 梅本地区

父母の研究は個人的なものやグループ別のものがあつて、個人的なものでは保健委員に調査を依頼したり独

断におちいらないよう警戒し研究と言っても専門でないので調査したり、学校医や学校薬剤師、養護教諭の意見を聞いたり保健知識に関する本をよんで研究したりしています。しかし何よりも実践を大切にして研究実行にとりくむには、興味をもって研究できるよう地区保健委員会の方や父母、子供と手をつなぎ保健教育に今後共努力して行きたいと思います。

4 児童の保健的配慮について

実践記録 1 環境のはたらき

2 教育の目標と道徳

近江八幡市立北里小学校 教諭 金 森 定 雄

I 環境のはたらきについて

1 家庭環境

人の発達については古くから素質か環境かということが論争されてきたが最近に於ける人間研究のめざましい発達はこの二つの対立を一つの高い立場に止揚するようになった。すなわち遺伝か環境かでなく両者どちらも大切でいわば人間は遺伝、環境的存在でこの二つの働き合いの所産であると考えられるようになった。児童の発達に大きな力をもっているこの環境は種々さまざまであっていろいろの種類の環境が存在するが親の立場からも、教師の立場からもとくに測定の必要の大きいものは家庭環境である。

2 事例研究

家庭環境の診断検査と児童の作文についての比較研究した所次のような結果を示した。

① 家庭環境の診断結果

区分	A	B	C	D	E
児童	家庭の一般状態	子供のための施設	文化的状態	家庭の一般的雰囲気	両親の教育的関心
クラス	58 + 5	34 + 3	31 + 3	34 + 4	55 + 4
M, H	60 + 5	39 + 3	29 + 3	42 + 5	48 + 3
Y, K	57 + 5	37 + 3	42 + 4	24 - 2	57 + 4
S, A	52 + 4	30 - 2	21 - 2	39 + 4	58 + 4

備考・二位数は粗点

・一位数五段階

・+は全国標準

・本検査は田研式による

・クラスは女子(24名)の平均

・診断 作文の実施 S.37.1

② 主題 父についての作文

・M, Hの作文(略)

・Y, Kの作文(略)

・S, Aの作文(略)

3 この事がらから

① 単に児童のもっている特性や程度を測定しただけでは正しい評価も生活指導もできない

その児童をかく様にした原因や条件について究明し正しい指導有効な治療を施さなくてはならない

②・クラス D, EにめぐまれているがB, Cがこれにともなわない

農村の代表的な特徴を示している

・M, H 大変おとなしく 内気で目立たない児童

A, DにすぐれているがB, C, Eがわるい

家庭的にもめぐまれており他の児童に比べて治療も極めて容易である

・Y, K 利己的で人気がない児童

口がとくにわるい、本人は後妻の子であり、母親のいかにも盲愛的な実態を物語っている生活程度は中の上である

- ・ S, A まじめで努力家人気があり委員長の経歴をもつ児童
- B, C にめぐまれない生活準保護家庭 母子家庭が原因、しかし母親の両親そろっての家庭に勝る家庭造りの程がうかがわれる。

II 教育の目標と道徳について

1 道徳の目標

道徳とは人間の行動を、その社会の基準に照らしてあっているかどうかによっていわれることである。従って社会のあり方が異なれば当然道徳に関する考え方も変わってくる道徳の目標はこれからの社会に正しく適応し、有効で幸福な生活をいとむことのできる民主的な人間を形成することであり、根本に於いては正しい民主的な道徳を身につけた健康な人間をつくることにある。

教科の学習も健康生活の改善もすべての教育のしごととは究極に於いてはみなその点に集ってくる。

2 道徳の指導

教育は計画的でなければならない 人間の形成はきものを作ったり道具を作ったりする場合のようにやりなおしのきくものではない。

刻々の仕事がつねに全体の人間形成に意味をもついいかえれば創造のしごとである。従って児童達は常に正しい目標をみざして計画と組織をもって正しい方法で指導されねばならない。

道徳とは 究極に於いては行動又は行為の問題であるが その行動にもいろいろある。

- ① 知らずに行った行動が偶然と社会の規準にあつた場合……予約性がない。
- ② 人から命ぜられて従うという場合……価値が低い
- ③ 自らが正しいと知り自覚して行う場合……指導目標

すなわち、自律的なものでこれは自分を統御できるようにすることを目ざすものであり、道徳教育の重要な指導目標である。

3 事例研究

- ① 道徳診断の結果……本検査は田研式検査による S.37・10実施

区分 学年	A		B		C		D		備 考
	男	女	男	女	男	女	男	女	
4	35	45	60	50	30	40	40	30	A=自己 自分自身の問題 B=家庭 親しい間からにある C=友人 長上の知人に対するもの D=社会 学校の友人に対するもの 一般社会に対するもの
5	60	60	50	60	45	45	30	30	
6	45	60	50	60	35	35	30	30	

③ Dの問題の結果

- A 目のよく見えない年寄りが人ごみの通りをよこ切ろうとしました。太郎さんは助けてあげようといいました。なぜなら

- イ 太郎さんはそうするように学校で習っているから 28%
- ロ 年寄が けがをすといけないから 19% ○
- ハ 知っている人が見ているかもしれないから 15% ×
- ニ 年寄が よろこんでくれるから 38%

- B 太郎さんが公園にいったら、芝生の中に「この芝生に入つてはいけません」という立てふだが立っていました。太郎さんははいりませんでした。

なぜなら

- イ 番人にしかられるから 45% ×
- ロ 芝生に虫がいてさされるから 12%

ハ 芝生がいたみますから

20% ○

ニ 人が見えていますから

23%

4 この事から

- ① 自分自身に関する問題や家族や親類や先生など親しい間柄にある長上、知人に対する問題については正しくながめ、考え、又理解もしているがだんだんと身辺より遠ざかるに従って誤答が多く一般社会の問題に於いては、とくにその正解率が少ない。
- ② この数字は学年の男女別粗点の平均を算出したものであり従って学級の道徳的なふん囲気を知ることができると共に、その欠陥を知っての指導計画上の重要な目標とすることができる。

5 血圧値の真価について

大阪市学校保健会 西 起 三 郎

一般に血圧が高いとか、低いとか云われているのは所謂平均血圧値なるものに比較してその値より高い人の血圧は高いといい、その値より低いものの血圧を低いといっているその人の血圧値の良否、優劣を論じていることの点は不可解の所がある、しかも対策を樹立して養生法、治療法を講ずことは当を得ている方法とは信じ難いのである。元来血圧値なるものは自然に千差万別の格差が賦与されているものなることは、体温、脈数、各臓器の作用、強弱に差異がある如く各々体質に即応したる体質をもっているものなることから考えても理解し得る所である。血圧値に限ぎって平均値に相当する値を有する人の値が良で、この値より高い、低い隔りのある値が不良であるということは人間の天然性と云ふものを無視したる盲説ではないかと思われるのである。筆者は私の考案し研究調査したる健康長寿器（健長器）を使用することにより自己固有の正常の血圧値なりと信じ得らるる、血圧値を探知し得ることを見出したので、その器具、実験をお目にかけもってご批判とご教示を仰がんと欲する所以である。

6 保健室からみた生徒の傷害発生に及ぼす学校内外の影響度合に関する一考察

神戸大学教育学部教育衛生学教室

浜田正美、平井悦子、氷室美沙子 今出悦子、石橋寿美子

神戸市のF中学校の校区は経済階級別にみて三段階の地区に際立って分けられる程の特色がある。校内に於ける傷害の発生はこの低所得地区からの通学生に目立って多いといわれていた。

そこで、私達は、保健室の一年間の傷病記録からこの間の事情を調査した。調査の結果各三地区に於ける傷害発生率にはほとんど差を認めなかった。ところが、F中学校の傷害発生率そのものは、他の神戸市内の中学校のそれと比べて高かった。神戸市内全中学校45校の傷病月報をもとにして調べた結果、年間一生徒当たり傷害件数は平均0.442件であつたのにもかかわらずF中学校のそれは、1.682件の高さであつた。一方、運動場の広さを調べてみると、本校に於いては、他の中学校に比べて極度に小さく生徒一人当たり僅かに1.05㎡であつた。試みに神戸市内全中学校の1人当たりの傷害件数と1人当たりの運動場面積との相関をとってみると強い負の相関を得た。

これらの調査を通じて教育の場での問題を地区社会との関連に於いて把握することも重要であるが、まず学校内での要因を検討してから後にすべきであるという教訓を得た。

7 学校保健の新しい分野としての2,3の問題

(序説) 大阪府学校保健会 長 谷 川 等

学校保健は従来の「学校衛生」(医学的および社会学的)そのものでなく、また「教育的学校衛生」(昭

和初期)でもない。かつて恩師竹村先生が主唱し続けられた「教育としての学校衛生」(1934、学童の保健、昭9年2月号)なのである。全く学校教育を支える重要な分野なのである。

新しい「学校保健」は新しい健康観のもとに“心”と“からだ”と“おこない”の他律的健康形成と自律的健康形成とを調和育成するを目的としている。いいかえれば、前者は“健康への管理”であり、後者は“健康への教育”である。学校における“健康への管理”面はわが国では「学校保健法」に概括的に規制されていて、これを「保健管理」と称している。“健康への教育”面は「学校教育法」に基く教育課程の“学習指導要領”に明示された「保健教育」である。これは内容的に更に「保健学習」と「保健指導」に分けて指示されている。

ここで最も肝心なことはこの管理と教育の両面は個別に存在するものでなく、いつ、いかなる場合でも相互関連の結合を必要とすることである。

最近改定された新しい“教育課程の指導要領”には4つの重要な領域があげられておる。①教科学習 ②道徳教育 ③特別教育活動 ④学校行事など。もちろん、この何れの教育活動の場面も学校保健の考慮なくしては教育効果はあげられない。すべての教科学習にも保健の条件を必要とし、道徳教育は即、保健教育であり、特活と行事などに到ってはあらゆる問題が保健指導と管理に密着している。

余等はかつて「学校保健は教育である(1957.8月才5回全国教育医学研究大会)と結論し、「日本の教育学」に「教育医学」の新部門を設定されんことを要望したのである。それについての2、3の問題を提起したいと思う。

8 生体測定における誤差の研究

京都大学教養部 川畑 愛義 八木 保

生体における形態測定をはじめあらゆる測定においてはより適正な方法によりより真なる値を得ることが望まれるが、一方測定器具をはじめ測定方法その他種々の原因により測定には誤差がある。しかも測定の誤差の範囲は予期以上に大きく変動することが少なくない。こゝに学徒の身体形態、機能、運動能力等に対する測定誤差を検討し併せて測定方法の妥当性、信頼性、客観性を検討することは測定の前提意義をもつものと云えよう。われわれは学徒について身長、胸囲、体重、上腕囲握力、背筋力、肺活量等の測定を行いその誤差を検討することにした。

こゝに小学生について行った形態測定に関しその上腕囲測定における誤差の例について述べる。

即ち市内のある小学校の児童を対象に数人の検者が1クラスの男女生徒について同1人を数回測定し得られた測定値について検討を行った。いま各検者とも測定方法は同一にして行つたが、得られる値は検者が異り、また測定回数が増えるごとに必ずしも一定せず変動した値が得られている。この測定値の変動の要因について検者間検者内に分析してみると測定者間79%、測定者が異なることによる測定値の変動は大きな割合を占め有意な値を示している。この測定における各検者、各回の測定信頼度は相関係数0.9以上を示しかなり高い。

9 成長加速化現象に関する研究

京都大学教養部 川畑愛義、八木保、西尾貞子

学徒の成長加速化現象は体格、生長、学力環境など種々の観点よりこれを検討する必要がある。私たちはこれの実態を知るとともにそれを要約する諸因子についての分析をすることにつとめた。発育を促進するものは先天的要因のほかに自然環境ならびに社会環境、栄養、運動などの因子が重要である。発育を知る指標としては身長、体重、胸囲などの体格、知能、性格などの発達、運動能力、身体適性、才二次成長、特に女子では初潮、男子では声変りなどがある。これらについて時間的空間的にその経緯を追求することによって真相をうかがい知ることが出来る。私たちはこれらの相互関係について調査を進めたのでその概要を報告す

我国においては才二次成長を観察することは極めて困難な事情にあるため男子では声変わり女子では初潮年令等について追求するより方法が少い。声変わりについて都市中学2年生についてその出現率をみるに約半数以下であった。そして対象群との体格を比較すると身長、体重、胸囲、座高いずれも出現者の方が優れていることがわかった。女子については同じく中学2年生において小数例ながら予備調査を行ったがその出現率は11才代15%、12才代49%、13才代21%、未潮者15%であった。そして早期出現者程大体において体格がすでに身長においてはすぐれているものが多い傾向を示した。

10 保健教育の個人評価

大阪市東住吉中学校保健主事 森 山 八 郎

教育測定 (Educational Measurement) は教育評価 (Educational evaluation) によって教育の目標がどれだけ達成されたかを判定する過程と言える。教育評価には知能テスト、学力テスト、性格テスト、適性テスト、行動の記録テストがありそれを再分類すれば論文体、客観的、標準化テストに分類することが出来、大阪市立東住吉中学校が昭和36年度より保健教育の評価について研究指定校に選定され本年度 (11月20日予定) 本発表の予定で保健管理 (指導) の評価・健康度の評価・保健体育学習の評価の三本の柱を中心として研究を続けているがここに発表するのは保健管理の中の一部の小項目を生徒の各個人によって自己について客観的に判断し該当らんに○印を記入させ、それによって生活の実践面・精神面・態度の面の項目によって調査したものでこの統計を個人別に見た場合、家庭環境及び社会環境の個人差もはっきりと知ることになった。次に他校との比較によって指導方針も考慮している。

調査方法については大阪市の中学校 (99校) が8ブロックになっておりその各々1ブロックに2校ずつ調査し計16校の統計と本校の分と比較して考慮しているが諸先生の御指導を仰ぎたい。

保健教育の個人評価

昭和 年 月 日

大阪市立 中学校 年 組 氏名 ()

下記の問題は自分の生活、精神的な面、行動、態度について、自分で調べるためのものです。

先生に見せるからといって、えんりよしたり、わざとよく書くようなことはしないで、ありのままに書きなさい。成績には関係ありません。たとえ現在はよくなくてもそれを自覚して改善するのがよいのです。

下記の文をみて、もっとも自分に合っていると思われるところに○印をつけなさい。

項 目	何 時 も		時 々		い い え	
	本 校	大 阪 市	本 校	大 阪 市	本 校	大 阪 市
1 生活の実践面の評価						
A 疲労と学習						
1 体が虚弱であるから勉強にさしつかえる時があるか?	0	2	29	45	71	53
2 きらいな授業は他の授業時間よりつかれますか?	8	12	60	72	32	16
3 体育授業後、次の時間に疲労を感じますか?	2	2	38	47	60	51
4 午後の授業は疲れを感じますか?	7	12	42	76	41	12
5 学校生活で疲れると休みますか? (遠足等も含む)	0	2	20	20	80	78
B そう音と学習						
1 授業中、他の生徒がさわく時でも授業に熱中できますか?	6	14	42	35	42	51
2 授業中、交通その他の音が気になりますか?	8	24	62	61	30	14
3 授業中、他の教室でのそう音 (理科・工作・音楽など) が気になりますか?	7	18	51	65	42	16

項	目	何 時 も		時 々		い い え	
4	家庭で勉強中、ラジオ・テレビその他の音が気になりますか？	18	12	90	63	22	24
5	家庭で勉強中、家族の雑談の音が気になりますか？	6	14	42	57	42	29
C 家庭の生活							
1	入浴は週に何回していますか？	80 ^{3回}	82	20 ^{2回}	12	0 ^{1回}	6
2	下着は何日毎にかえますか？	91 ^{2日}	96	2 ^{3日}	4	6 ^{4日}	0
3	自分の下着は自分で洗濯しますか？	58	53	40	39	2	8
3	自分の下着は自分で洗濯しますか？	18	2	24	31	58	67
4	就寝時間、起床時間は一定していますか？	29	4	33	41	38	55
5	部屋の清掃は自分でしますか？	31	22	38	55	31	22
2 精神面の評価							
A 神経的な面							
1	一寸のことでもひどく気にしますか？	11	12	58	72	31	16
2	不眠症で困る時がありますか？	2	2	36	35	62	63
3	短気で困る場合がありますか？	10	16	54	61	36	22
4	いつもくよくよしますか？	6	2	40	63	54	35
5	すぐおこりっぽくなりますか？	13	6	67	74	20	20
B 学校生活							
1	他人とともにいることがいつも嫌いですか？	5	0	6	59	89	41
2	いつも自分が正しく、他人が間違っていると思いますか？	4	2	29	76	67	22
3	先生に注意されて悩んだことがありますか？	6	2	40	76	54	22
4	友人の関係で悩んでいますか？	2	4	25	49	37	47
5	学校で何かいいあつて悩む場合がありますか？	0	0	42	47	58	53
C 家庭生活							
1	両親関係で何かさびしい感じを感じますか？	2	2	16	16	82	82
2	家庭（兄弟関係）で悩むことがありますか？	0	2	24	41	76	57
3	家庭で何か不満を感じますか？	2	4	36	80	62	16
4	両親を信頼してすべてのことをうちあけますか？	29	8	53	57	18	35
5	家で物事をおこなう時に集中できますか？	29	20	58	53	13	27
3 態度面の評価							
1 先生や目上の人に叱られたとき							
A 悲観的になるか？							
1	自分の行動や性格が情けないと考える	7	8	64	65	29	27
2	自分の気持ちをわかってくれないので悲しい	8	10	42	65	50	24
3	世の中がつまらなく思う	2	4	26	49	72	47
B 反抗的になるか？							
1	しかえしをしてやりたいと思う	3	8	44	61	53	31

項	目	何時も		時々		いいえ	
2	不公平だと思う	6	18	50	51	44	31
3	どうせ自分は駄目なんだから余計な世話だと思う	5	2	8	31	87	67
C	反省的になるか？						
1	自分のためにしかってくれるのだと思う	16	22	67	65	14	12
2	自分の欠点がよくわかったと思う	29	16	60	74	11	10
3	申し訳けないことをしたと思う	29	14	64	69	7	16
2	清掃の場合						
A	清掃を積極的にやっているか？						
1	当番だからやっている	38	55	44	25	18	10
2	先生に叱られるからやっている	4	10	16	39	80	51
3	清掃は自分から進んでやっている	7	10	64	39	29	51
B	教室、廊下、運動場に紙屑が落ちていたら拾いますか？						
1	自分から進んで拾う	5	0	51	45	44	55
2	先生に注意されたら拾う	47	59	38	29	13	12
3	誰か見たら拾う	0	2	20	24	80	74

11 過去十年間の大阪市立中学校卒業期生徒の肺結核の消長について

大阪市学校医会 大 島 明 雄

昭和28年より37年迄の10年間の大阪市立中学校卒業期生徒の結核患者発見率の推移について。

全国小中学校児童生徒の患者発見率は、0.1%となっているが、大阪市では表示の如く36年になって初めて全国平均となり、37年度には漸くその平均値0.1%を下廻ることが出来る様になった。

尚、3ヶ月前には所見なき生徒が有空間の新病巣が発行されたり又A₁ B₁に該当する生徒の稀有でない悲惨な例を体験しているので、今後も出来るだけ、学期毎に結核検診ををして、早期発見、早期治療につとめて、結核撲滅に手をゆるめてはならないことを主張したい。

大阪市立中学校卒業期結核検診結果

年次	受検者 総 数	要精検 者 数	精検実 施者数	精 検 に よ る 判 定				
				A ₁	B ₁	A ₁ + B ₁	B ₂ + C ₂	
28年	2.2124	455	455	9	22	0.14%	31	72
29 "	3.1226	536	536	14	26	0.13%	40	182
30 "	3.6886	532	532	16	42	0.16%	58	59
31 "	4.3286	604	604	57	60	0.27%	117	64
32 "	4.1465	788	788	56	51	0.26%	107	97
33 "	4.4923	189	189	46	53	0.22%	99	77
34 "	4.2821	1134	1134	49	99	0.35%	148	74
35 "	3.1296	363	363	20	29	0.16%	49	26
36 "	4.3541	386	386	16	38	0.1 %	54	78
37 "	6.0029	435	435	19	27	0.08%	46	73

12「学校保健における精神身体医学的考え方の重要性について」

大阪学芸大学（保健養護学科） 高 木 俊 一 郎

身体的に欠陥がないばかりでなく、精神的にも健康で、社会にうまく適応し、幸福で積極的な生活を営み得なければ、真に健康な人間とは云えない。学校保健の目的が健康な人間の育成であるならば、人間を身体と精神との両面から理解し、取扱って行く精神身体医学の考え方こそ、教育にたづさわる全ての人々に最も大切なものである。

そもそも、人間は身体をもち、精神をもち、物を考え、悩み、あるいは喜びながら生活している。身体とか、精神とか云うけれども、それは決して別々に二つのものがあるのではなく、全く1人の人間の1つの反応の2面にすぎないのである。しかも、人間は自己を保存し、主張し、発展させようとする衝動をもつ存在である。そのために、人間は必ず満されねばならぬ生理的、心理的要求をもち、それが満されぬときには緊張し自然にその解消の方向への反応が起り、満されてはじめて身心の安定を得る。そのように考えると、人間の現わす行動、習癖、身体反応は要求解消への反応の現われ方の差にすぎない。

こゝに於て、私は精神身体医の基本的な考え方、種々の症状の発生に当たっての身体的、心理的素と環境との関係、心因性と言うことばの意義について説明する。

最後に、精神身体医学的考え方は人間理解の基礎であり、教育者の必須の知識でなければならぬことを強調する。

13 モデル防音教室の効果について

大阪市学校保健会 古 井 司

西成区弘治小学校は交通騒音校として有名校？の一つに上げられている。本校はこの問題と10年間取組み関係当局と折渉して来たが何分交通騒音は非特定な対象であり、また條令で抑制しても急増する交通量には勝てず教師の咽喉は病み、発声は異常となり生徒の学習能率は低下を来す状況でPTAとしては万策つき学校疎開を真剣に考えるといふ状態迄追込まれていたのである。市当局ではこの方面の研究は目下研究中といふ段階と聞いていたのが騒音の急騰と学校側の強い要望により、不取三教室を防音教室改造に踏切り費用約150万円、PTA負担2万円をかけた12月末に完成した。何分モデルケースとしての計画だけにその効果は各方面から期待をよせられている。その後教師の声も正常となり、生徒も落ち着きを取り戻した事は諸々問題は残されてはいるが成功であったと思ふ。

我々は学校の依頼により数回本校測定して来たがこれを立証する為に防音教室と隣教室（非防音）とを比較測定し、換気、照度等関連ある問題についても調査して見た。

この日は各階共防音、普通教室との差が何れも12ホーンあり、その効果の程が伺れた。この効果は74～55ホーンの平均値の間でしかも教師の声が普通65～60ホーンであることを見合せると、聴き取れるか否かといふ限界での12ホーンのもつ意味は極めて大きいと謂はねばならない。

14 精薄児童についての薬物使用経験

大阪市大政学部 山 本 勝 朗
堺市立養護学校 深 瀬 孝 一
豊 田 英 太 郎
岡 田 宮 子

精薄児童に対する教育の効果は今更ら云々する迄もない。この効果を更に向上させる為に各種薬物を使用する向きが少くない。てんかん児に対する抗てんかん剤の使用、情緒不安児に対する情緒安定剤の使用は、

明らかに教育効果を向上させるものであるが、他方、脳の栄養剤或いは機能亢進剤として試みられる薬物がある。そしてそれら薬物の効果については未だ決定的な一致した見解はないようである。私達はこれら薬物のうち、各種ビタミン総合剤、 γ -アミノ酪酸、脳水解物の三種について試みた結果を報告する。

15 小児の発育加速現象について

オ1報 思春期小児の成長と成熟について

大阪市立大学医学部小児科教室

高 井 俊 夫
安 藤 格
小 泉 英 雄

わが国の学童とくに思春期小児の体位が近年いちぢるしく増大してきていること、ならびに小児の成熟年齢が低下してきていることは、とくに戦後の著明な現象として注目されているが、われわれはこの発育加速現象について、とくに成長と成熟との関連について調査を行ったので報告する。

男子の成熟の指標としては外陰部の色素沈着および睪丸の長径をもってし、女子の成熟の指標としては初潮の有無および初潮後の経過年数をもってした。対象は大阪市内および近郊の小・中学生であるが、男子では成熟の進展にともなって、身長・体重・胸囲などの値が平行して増大し、血圧もまた高値をしめした。女子では初潮とともに体位が増大するが、その優位は永くつかず、初潮後1~2年以上経過するときは早熟者かならずしも最大体位を示さないという結果を得た。このことは皮下脂肪厚度、握力、手掌囲さらに血圧においても同様の傾向が認められた。

思春期は成熟とともに体位においても急激な発育の時期であり、歴年令からみるとその個人差は極めて大きく、かつ複雑な様相を呈する。

オ2報 非行少女と発育加速現象

近年とくに都市における非行少年の増加とその低年齢化が注目されているが、同様の傾向をもつものとして小児の発育加速現象がある。

われわれは大阪府下の非行少女収容施設に収容されている少女約100名について、その体位ならびに初潮年齢を調査したので報告する。

非行少女の体位は同年令の学生生徒にくらべて身長はやさしく低く、体重および胸囲は大きい。初潮年齢はおくれている。そしてその小学校時代における体位の調査から、これら非行少女たちは発育期において、発育の抑制された例の多いことが想像される。すなわち非行少女はけっして早熟でなく、一般少年の発育加速現象から取残された群であると考えるのが妥当であると思われる。種々の刺激が間脳、下垂体を介して少年の発育を抑制し、同時に非行に走らせる原因となっているものと想像される。

少女たちを初潮年齢によってグループに分けると、成人体位としては早熟者必らずしも大でなく、むしろ晩熟者の体位が大であったことも興味ある所見と思う。

16 本校健康調査（オ一報）

寝屋川市立オ五小学校学校医 藤 田 元 洋

毎日登校している児童と雖も、何分発育途上にあり、比較的心身の健康に恵まれざるものは勿論、一般に

健康と考えられているものも、何か弱点があると想定し、「一般健康調査」「起立性調節障害の調査」「心臓疾患調査」「結核検診成績の最近十年間の推移」「学童体温調査」等を昨年本校児童九百余名について行った。この弱点を児童各人について早期に確実に把握し、学校と家庭が一体となって、これが対策の実施を企図しているのは勿論である。今回は時間の都合上「一般健康調査」について報告する。

先ず次のような質問を父兄に送り、その回答を○、×によって求めた。

- a. 主として肉体的弱点と考えられる四つの項について
- b. 肉体的及び精神的二要素から弱点と考えられる五つの項について
- c. 素質と性格の弱的と考えられる七つの項について
- d. 主として発、栄養に関する弱的と考えられる三つの項について
- e. 疾病に関する弱的の三つの項について

この回答を基礎にして全児童につき必要あるものは、問診、視診、聴診、触診及び簡単な検査を行い、更に項目によっては担任教師の意見を求めた。この成績を学年別に比較検討したのであるが、興味多く且示唆に富める結果を得たので、若干の考察を加え当日述べさして載く。皆様の御批判を仰ぐことが出来れば幸甚と存じます。

17 集団赤痢発生と水質検査に於ける学校薬剤師の業務

田辺市学校薬剤師会 鈴木 繁 三

最近、赤痢の集団発生が次々と起り、大きな社会問題とし報道されている。当和歌山県下で本年に入り、その規模の大小はあれ、三件の集団発生を見た。そして、この感染経路として、飲料水に起因又は起因の疑をもたれているものが多い。当学校薬剤師会は身近に起った牟婁町上芳養地区、しかも小学校飲用水に起因の疑ある赤痢発生に伴い、保健所に協力、当該地区家庭用水の細菌検査を行い、これらが如何に細菌的に不備であるかを知った。

昨年、本年度の学校薬剤師会の作業資料として学校より得た検査希望アンケート中、要望度の高かった水質検査を緊急にとり上げ、関係方局の協力を求め、5月-6月上旬に亘り、田辺市及び西牟婁郡内小中高校、出来る範囲の保育所、幼稚園、上水道簡易水道百数十件について一斉水質検査（化学細菌）を実施した。

その結果、多くの飲用不適用水が出、しかもその殆どは細菌学的原因に依るものであった。

夏期をひかえ、又給食の推進がさげばれている折柄、根本的な問題である。

吾々学校薬剤師は従来、試験データーの作製に終ってともすればその対策実行に迄は手の及ばない実状であった。之には技術的な面、政治的な面、等種々の障害がある。各位の御指導、御理解をえたい。

この場合飲料水という、一部問をとらえての問題ではあるが、これらの隘路除去は、今後の学校薬剤師業務推進にも通ずるものがある。

18 児童の自律神経緊張傾向

＝(5) 難聴について＝

大阪学芸大学保健学教室 柳 原 栄 一、伊 東 祐 一
大阪市立曽根崎小学校 不 死 川 慶 昭

児童の自律神経緊張傾向は3～4年生の時期が緊張方向の転換期に当っており、また同一年令でも男女により若干の相違があるが、一般に低学年では交緊張、高学年では副交緊張方向児童が学科の成績、I.Qなども優れていることを報告してきた。

今回は難聴児（全校児童をオーディオメーターを用いて聴力損失ダイヤルを20dbに固定し周波数切替ダイヤル1000C/S、4000C/S だけを用いてこのレベルを聴取できないものを選別し該当者をさらに精密検査して

難聴の基準を80-50dbを高度、50-30dbを中度、30db以下を軽度難聴者とした。を22名選別した。これら児童の学力、I.Qと自律神経緊張傾向の測定を実施した。

これらの結果は正常児の傾向とほぼ同一傾向であったのでそれらの結果について報告する。

19 奈良県五条市における児童の血液型検査について

五条市学校保健会 寒川正明 三好八千代 榎坂正代
辻 健子 山本昌子

五条小学校における三年生より六年生迄の全児童 1,059名につき血液型と頭髪発生方向知能指数性格調査の各項に至り諸検査を実施した。血液型の分布については第1表の如く大略日本人分布率に並行していた。毛髪つむじ発生方向については右巻型が多く(57%)次で左巻型(40%)の順で左右巻型は19例みられた。次に性格についてイ、ロ、ハ、ニ(才2表のイ))の四種に大別して夫々担担教諭に記載を依頼し血液型の相関を調べたが従来云はれているように内気で神経質で引き込み思案の者(イ)群のうちA型の者は41.1%で矢張り多く見られたがAB型の者も40.0%存在した(才2表のロ)。知能指数との相関については才3表に掲げたが特別の関係は見られなかった。最後に血液型による学級編成につき二、三学究の研究を参考とした血液性格型を基本にした集団指数 $\frac{B型者\% + O型者\%}{A型者\% + AB型者\%} = \frac{A(積極的な気質)}{P(消極的な気質)}$ を出す事により学級の気風を観察してみた。因に $\frac{A}{P}$ が 1.0 ~ 1.6 の間のものは能率的で円満な気風と考え $\frac{A}{P}$ が 1.6 を越す場合、積極的気風が多く統制に苦心がある、又 $\frac{A}{P}$ が 1.0 以下では消極的内省的で温和な気風とみるものである。ある学年6クラスにつき算出してみたが殆どは 1.1~1.32 であったが1クラスが2.04を示し学級経営に苦心があると考えられた。以上調査から血液型は児童個人とに交通災害頻発の折柄是非必要なるは云ふを待たず学級の気風を知り更に適正にそれを編成するに参考とすべきあると考えられる。

(才1表) 血液型の分布

学年	性別	検査数	A	B	O	AB
3	男女	119 110	48 35	25 30	36 36	10 9
4	男女	139 118	44 45	27 23	52 40	8 10
5	男女	117 133	43 49	28 31	40 40	6 13
6	男女	171 160	69 58	33 27	49 53	20 22
計	男	538	204 (37.9%)	113 (21.0%)	177 (32.9%)	44 (8.2%)
	女	521	187 (35.9%)	111 (21.3%)	169 (32.4%)	54 (10.4%)
日本人の分布			38.0%	22.0%	31.0%	9%

(才2表の(ロ)) 性格と血液型との関係

血液型 性格型	A	B	O	AB
イ	163 (41.1%)	71 (31.4%)	113 (32.9%)	40 (40.0%)
ロ	86 (22.1%)	92 (40.7%)	76 (22.2%)	16 (16%)
ハ	86 (22.1%)	36 (15.9%)	107 (31.2%)	14 (14.0%)
ニ	55 (14.7%)	27 (12.0%)	47 (13.7%)	30 (30.0%)

才2表の(イ)性格の別

- イ 内気で神経質で引き込み思案の者
- ロ 気軽で快活で執着がよい
- ハ 意志が強く物事に対して進歩的な傾向をもつ者
- ニ 性格に矛盾が多くて統一性に欠けている様な者

第3表 知能指数と血液型との関係

学年	知能 区分	血液型			
		A	B	O	AB
3 年	上	44	26	42	8
	中	35	29	31	11
	下	2	0	1	0
4 年	上	30	15	27	5
	中	60	37	61	12
	下	0	0	2	0
5 年	上	32	24	28	11
	中	48	32	45	6
	下	12	3	11	2
6 年	上	63	36	52	18
	中	54	18	39	22
	下	9	6	11	3
計	上	169 (43.7%)	101 (45.1%)	149 (43.3%)	41 (42.2%)
	中	195 (50.4%)	114 (50.9%)	174 (50.5%)	51 (52.6%)
	下	23 (5.9%)	9 (4.0%)	21 (6.2%)	5 (5.2%)

20『小児における精神身体症の年令別・性別発生頻度』

大阪学芸大学（保健養護学科） 高 木 俊 一 郎

小児の精神身体症には如何なるものを含ませるか。小児は心身の働きが未熟・未分化で、精神と身体の症状の現われ方に相関性が高い。しかし、自我の発達が未分化であるため、心理的葛藤から来る複雑な神経症は乳幼児には少なくし、一時的で不安定な精神生理反応が大部を占める。また、精神神経症、神経性習癖、人格障害と精神身体症との境界も不明瞭なことが多い。しかし、小児の現わす自律神経失調症の中にも、心理的誘因が強く関与し、将来、特定の器官に固定し、慢性化し、American Psuchiatic Association の分類中の Psychoplysiologic Antonomic gnd visceral Reaction に含まれる症状や疾患に発展すると思はれるものを多数に発見する。各症型における精神身体症の含まれる%を男女別にみると、心臓神経症、神経性嘔吐に於ては女兒の方が多いが、他の腸管系および夜尿、頻尿などは男児の方に多い。また、心臓神経症は60%、憤怒痙攣は100%、神経性嘔吐は80~90%、神経性下痢は90%遺尿は80% 遺糞は100%に、また、偏頭痛、気管支喘息、夜尿症、腸管運動失調症、頻尿などではその30~40%に心理的誘因を濃厚に認めた。勿論、年令によってもその現われ方は異なる。

21 生徒保健委員会の自主的保健活動を高めるにはどんな指導が必要か

滋賀県立愛知高等学校教諭 奥 川 直 助

本校生徒保健委員会組織が結成されて実際活動するようになったのは昭和34年4月以降で、それ以前にH Rでの自主的運営のみであった。今、静かに考えますと、家庭の状態が学校へ否、中学校に於ける学校保健に対する本人の考え方が地域の高校にその模範要素を持ち寄り高校1年時代の自主的活動にあらわれることの大きいことは生徒保健委員会を開催している時の発言内容と平素の状態が一致する雰囲気を見聞してその

指導助言の任にあたっています。大きな夢よりも小さな積み重さのよい習慣形成が重要である。例えば晴天時教室の窓の開閉、暗い教室の照明設備の利用、教室の清掃、風の日の運動場の砂ほこりに対する対策、手足の清洗、うがいの励行等その時の環境条件を適切に処置する考え方の中に保健上の配慮がはられる行動的様は実に重要であるが個々の立場及集団としての立場の比較は集団としての自主的保健手段が徹底して充分発揮されないのが悩みを感じますが学校保健管理の立場に於て生徒が安全に少しでも生徒保健委員会の組織の活潑な運営と活動内容に調査検査を分担して学校の美化、安全、健康教育向上のため表裏なくおこなってくれるよう激励したり、指導を常にあたえる機会をつくり大きな学校保健向上の責任ある輪を廻転してくれるよう保健主事は常に自主性を保健活動内容に於て育成する場をつくらすことが肝要である。校内放送や学校保健徳目の掲示や表彰等もやるべきである。

22 頻回受傷児童に関する研究

—受傷頻度を中心として—

大阪学芸大附属平野小学校 西尾 伸 一 橋本 滋 子

従来から児童の学校内外傷に関する調査及び統計は数多く報告され、また産業及び交通の面からの成人の事故に関する報告も近時見られつつあるいずれも安全及び事故の防止という見地から非常に重要な問題であると考えられる。ところで我々ば先に小学校児童の外傷に関して発達の観点からその内容について検討し報告したが関連的に同一児童が外傷反復して生起している傾向をも見出した。外傷生起の要因としては数多くの主体的要因と環境的要因とが複雑に関連して生起するものと考えられるのではあるが、さきの反復して外傷を生起する児童すなわち頻回受傷児童においては、その原因としておもに主体的要因が考えられる。そこで我々は、何故同一児童が反復して外傷を生起するのか、またこれらの頻回受傷児童の精神及び身体的特性は如何なるものであるのか、またこれらの児童の安全指導及び治療はいかにすべきなのかについて究明しようとするものであるが、今回は予備的段階としてまず頻回受傷児童の実態について若干検討を行った結果を報告する。

調査対象は大阪学芸大学附属平野小学校児童、オ1学年からオ6学年のもの569名でその内小学校保健室において過去1ケ年間に外傷の処置を受けた児童の傷名日時、場所その他について調査を行ったが、今回は同一児童の受傷回数について報告する。まず処置回数においては最も多かった者はオ5学年で8回でこの回数は学年が進むに従って増加する傾向が見られた。ついで受傷回数4回以上の児童について、各学年在籍児童に対する比率で比較してみると、オ4学年が約8%で最も多く、これも学年が進むに従って増加する傾向がみられた。また4回以上の頻回受傷児童オ3学年以後急激に増加していることも見られた。ついで全受傷児童数について各学年在籍児童数に対する比率で比較してみるとオ3学年から急激に増加しこれも学年が進むに従って増加していることがみられた。男女差においては、各受傷回数ともに女子の受傷者の比率が多いのがみられた。現在更にこれらの頻回受傷児童の精神及び身体的特性について検討を加えつつあるが、つぎの機会に報告するなお本研究にあたって今井欣悦、高木 俊一郎両教授の御指導をいただいたことを感謝いたします。